

令和7年度大学コンソーシアムやまがた定期総会議事録

日 時	令和7年6月30日（月）15:30～16:12		
場 所	山形大学法人本部第一会議室及びZoomによるWeb会議		
出席者	羽陽学園短期大学	： 渡邊 洋一	学長
	東北芸術工科大学	： 若林 宏	幹事会副委員長／理事・事務局長
	東北公益文科大学	： 神田 直弥	副会長／学長
	東北農林専門職大学	： 神山 修	学長
	東北農林専門職大学附属大学校	： 今田 匡彦	校長
	東北文教大学／東北文教大学短期大学部	： 須賀 一好	副会長／学長
	〃	： 鈴木 隆	幹事会副委員長／副学長
	放送大学山形学習センター	： 山本 陽史	所長
	山形県立産業技術短期大学校	： 佐藤 俊一	校長
	山形県立保健医療大学	： 上月 正博	副会長／学長
	〃	： 鎌水 功泰	幹事会副委員長／理事・事務局長
	山形県立米沢栄養大学		
	山形県立米沢女子短期大学	： 阿部 宏慈	監事／学長
	〃	： 星 孝浩	幹事会副委員長／理事・事務局長
	山形工科短期大学校	： 小幡 知之	学校長
	山形県	： 小中 章雄	監事／総務部長
		代理：齋藤満宏 総務部高等教育政策・学事文書課長	
	山形大学	： 玉手 英利	会長／学長
	〃	： 大森 桂	幹事会委員長／副学長
欠席者	鶴岡工業高等専門学校	： 太田 道也	校長
	電動モビリティシステム専門職大学	： 清水 浩	学長
	東北芸術工科大学	： 中山 ダイスケ	副会長／学長
陪席者	山形大学	： 栗山 恭直	企画会議委員長／教授
	山形県	： 長岡 明宏	総務部高等教育政策・学事文書課主査
	山形大学	： 奥野 貴士	データサイエンス教育研究推進センター長
	〃	： 柿崎 悦子	男女共同参画推進室准教授
	〃	： 東海林守一	総務部長
	〃	： 樋口 浩朗	総務部長付上席専門員兼総務部総務課社会共創推進事務室長
	〃	： 石澤慎太郎	総務部総務課社会共創推進事務室係長
事務局		： 舟橋 信治	事務局長
		： 今田 健太	事務局員

会議に先立ち、事務局から幹事会成立の報告があった。

次いで、玉手会長から今年度新たに委員になった6名（今田委員、鈴木委員、山本委員、鎌水

委員、星委員、小中委員）の紹介があった。

〔報告事項〕

1 令和6年度事業報告（案）について

事務局から、令和6年度事業報告（案）について、資料1に基づき報告があった。

また、令和6年度の第2回幹事会において報告した「やまがた夜話」申込フォームの設定不備による情報セキュリティインシデントについて補足説明があった。

〔協議事項〕

1 令和6年度収支決算（案）について

2 監査報告について

事務局から、令和6年度収支決算（案）について、資料2に基づき、以下のような説明があった。

（収入について）

- ・ 機関負担金、繰越金及び雑収入を合せて、収入決算額が5,793,442円となった。

（支出について）

- ・ 「共同教育事業」については、単位互換に伴う交通費の支出減、単位互換推進チラシの発行部数の減等により執行残が生じた。
- ・ 「県内進学推進事業」については、やまがた大進学交流フェスタの関係経費に執行した。
- ・ 「地域貢献・活性化事業」については、やまぶらの初期戦略に貢献する事業及び学生による地域貢献・活性化事業プロジェクトの申請採択件数により執行残となった。
- ・ 「大学コンソーシアムやまがた運営費」については、事務局職員人件費が職員の退職による空白期間が生じたこと及びプリンターのトナー等の消耗品の購入減により、約100万円の執行残となった。この分が前年度に比較して約100万円程の支出減となった要因となる。

以上、収入決算額5,793,442円から支出決算額の2,994,952円を差引いた2,798,490円が、令和7年度への繰越額となる。

引き続き、阿部監事から、資料3に基づき、令和6年度の会計監査について、適正である旨の監査報告があった。

次いで、会長から両議題について諮られた結果、承認された。

3 令和7年度事業計画（案）、収支予算（案）及び機関負担金について

事務局から、令和7年度事業計画（案）については、「第4期事業計画」に基づき事業を展開する旨、資料4に基づき説明があった。

引き続き事務局から、収支予算（案）について、以下のような説明があった。

（収入について）

- ・ 資料5-1の収支予算書（案）の機関負担金（会費）収入については、昨年6月に開催の定期総会において資料5（参考）のとおり承認されているが、令和6年度からの繰越金が、2,798,490円となるため、資料5-3のとおり、機関負担金を減額する修正案を作成した。
- ・ 減額については、機関負担金の負担金対象者数1人あたりの単価を211.5円から50円に引き下げることとし、併せて、収容定員の変更による変更及び電動モビリティシステム専門職大学からの機関負担金免除申請に伴う変更を行い、1,272,760円減額の2,782,000円となる。

- ・ 機関負担金収入、繰越金及び雑収入 100 円を見込んだ合計 5,580,590 円を収入予算額とする。
(支出について)
- ・ 支出について、事業毎の予算は、令和 6 年度の当初予算を基に計上している。
- ・ 新規事業の「共同教育事業」は、大学等と地域が連携して取り組む地域課題プロジェクトとして 100,000 円を計上している。

収入予算 5,580,590 円から支出見込額 4,755,000 円を引いた残り 825,590 円を予備費とした。

本件に係る主な意見及び質疑応答は以下のとおり。(◎:意見等,○:回答)

- ◎ 「やまぶら」初期戦略に貢献する事業の名称について、立ち上げから使用しているものであり、初期戦略の名称は見直しても良いのではないか。
- 令和 8 年度から名称を見直しを図りたい。

次いで、会長から本件について諮られた結果、承認された。

4 令和 8 年度機関負担金(会費)(案)について

事務局から、資料 6 に基づき、以下のような説明があった。

- ・ 例年、来年度予算の要求に必要な機関等もあり、この時期に翌年度の負担金を示している。
- ・ 昨年度の総会において確認いただいた令和 7 年度負担金を基に、令和 7 年度の収容定員で計算している。
- ・ 機関負担金については、令和 6 年度の繰越金が 2,798,490 円となったため、機関負担金の負担金対象者数 1 人あたりの単価を 211.5 円から 130 円に引き下げることとし、併せて、収容定員の変更による変更を行い、3,836,250 円とした。
- ・ 電動モビリティシステム専門職大学及び東北農林専門職大学については、新設した機関への配慮として、完成年度までは、入会時の負担額とするよう提案している。

次いで、会長から本件について諮られた結果、承認された。

[その他]

1 山形大学からの相談について

山形大学データサイエンス教育研究推進センター長の奥野教授から、資料 7 に基づき、教材の学外展開に向けた連携構想(案)について、以下のような情報提供があった。

- ・ 本構想は、大学コンソーシアムやまがたを中心とした大学間の教育連携プラットフォームを構築し、数理・データサイエンス・AI 分野における教育資源の共有とオンデマンド教材の活用を通じて、情報系教育の質の向上及び教員不足の解消を図るものです。さらに、社会人向け教材を展開し、地域課題の解決に貢献し得るデジタル人材の育成・輩出を目指したい。
- ・ 今年度は山形県立保健医療大学にて科目の採用を行い、来年度からは米沢栄養大学との連携を予定している。
- ・ 現在は文部科学省からの補助金を活用しながら実施しているが、やがては新たな財源の確保を図る等の検討が必要となる。

- ・ 本件について関心のある機関があれば、本センターへ照会願いたい。

次いで、会長から、今後財政が厳しくなるため、学生に対する教育の質を低下させることのないよう、地域との連携を深め、山形県の協力もいただきながら進めていきたい旨述べられた。

2 その他

次いで、会長から、高等教育の問題として人口が減少する中、どう受験生を確保すべきかが、各大学等機関の重要な課題となるため、意見交換をお願いしたい旨述べられた。

本件に係る主な意見及び質疑応答は以下のとおり。(◎:意見等)

- ◎ 経済的理由によるところもあるため、山形県全体で進学支援を行う必要があるのではないかと。
- ◎ 県内の進学率が全国平均より低い。保護者の意識が首都圏及び仙台市に向いている。
- ◎ 大学進学率を上げる取り組みが必要となる。
- ◎ 県の取り組みとして女性の活躍を推進するものがある。また、県内に就職することを前提とする考え方があるため、その解決が難しい。地元定着も職種により一律ではなく、分析が必要となる。
- ◎ 通信制の高校や外国人留学生の在籍する専門学校へも受験案内を送付する等、ご意見を伺いながら進めたい。
- ◎ これまでの考え方を変えて、積極的に取り組んでいくことが大事になる。

【配付資料】

次第

資料一覧

番号なし

- ・ 総会委員及び役員名簿
- ・ 会則

資料1

令和6年度大学コンソーシアムやまがた事業報告書

資料2

令和6年度大学コンソーシアムやまがた収支決算書(案)

資料3

監事監査に関する資料

資料4

令和7年度 大学コンソーシアムやまがた事業計画書(案)

資料5-1

令和7年度 大学コンソーシアムやまがた収支予算書(案)

資料5-2

令和7年度 大学コンソーシアムやまがた機関負担金の免除について(申請)

資料5-3

令和7年度 機関負担金(会費)(修正案)

資料5(参考)

令和7年度 機関負担金(会費)(令和6年度定期総会承認)

資料6

令和8年度 機関負担金(会費)(案)

資料7

教材の学外展開に向けた連携構想(案)

議事録署名人

会長／山形大学長

玉手英利